

シニア団体活動支援事業は、元気な高齢者が地域の活動に参加するきっかけをつくり、高齢者の社会参加と自主的活動を促進し、高齢者の生きがいと健康づくりを目的としております。この広報誌では、年齢を感じさせず、いきいきと活動している本事業登録団体をご紹介します。

## 清水折紙愛好会

市町村	福島市	年齢構成	57歳～88歳	会員数	13名
連絡先	024-5558-6299(代表宅)	活動場所	清水学習センター分館	日時	毎月第2・4月曜日 午前10時～12時頃
代表者	会長 榎利子(のぼりこ)	活動内容	折り紙	会費	月1,000円

### 〈設立40年を超えて〉

昭和50年に設立された本会は、現在42年目となり歴史ある愛好会の一つである。月2回2時間ほどの日本折紙協会の講師資格を持った講師(先生)が中心となり、季節に合ったモチーフなどを楽しみながら折り進める。年1回開催される地域の文化祭には置3枚分の大きな協同作品を会員全員で作成し、完成後の達成感是非常に大きなものとなっている。また、折り紙を通して地域の小学生との交流や、福祉施設との交流なども行っている。



今回お話を伺った皆さん。前列右から2番目が会の講師(先生)である河野セイ子さん。その隣が会長の榎利子さん。

先生を中心に輪が出来、この折り方が難しいのよねえ」と言いながらも会員の皆さんは楽しそうに折り進めていた。



### 〈折り紙の世界〉

折り紙は無限の広がりを持つ一つの文化である。折り紙を黙々と折り進め、作品が出来上がればたとえ小さな作品でも大きな達成感が味わえる。また、その作品を見た他の人もその可愛さ・美しさを共有できる。自分自身で楽しむことができる部分が折り紙の楽しさであると、講師の河野さんは笑顔で話されていた。入会・問合せについては代表まで。



今年の文化祭出展作品である「花のたわむれ」。

## 松原スポーツ民謡愛好会

市町村	北塩原村	年齢構成	60歳～85歳	会員数	34名
連絡先	0241-134-12379(代表宅)	活動場所	松原村集会所	日時	毎週火曜日(月4回) 午前9時～11時半
代表者	部長 佐藤文世(さとうふみよ)	活動内容	スポーツ民謡	会費	1,500円/年間

### 〈スポーツ民謡の楽しさと共に〉

平成17年に老人クラブの活動の一つとして発足した本会は、毎週火曜日に2時間半程度の練習が進められる。「スポーツ民謡」とは民謡などに振付けをつけて踊り、日本舞踊よりも体勢にかかる負担が少ないため誰もが楽しく参加できる踊りの一つである。レクリエーションとして楽しむ傍ら、年1回開催される村の芸能発表会に向けて練習を進めたり、村のデイサービスセンターへの慰問などの活動も行っている。



今回お話を伺った皆さん。前列左から2番目が(芸能)部長の佐藤文世さん。その隣が会長の外島二郎さん。



会が踊りを披露した「裏磐梯早稲沢温泉村・熊まつり」。揃いの法被と「銭太鼓」という楽器の一種を持って踊る。



村のデイサービスセンターにおける慰問活動。会員自身も楽しみながら踊りを披露した。

### 〈雪の中に咲くたくさんの笑顔〉

スポーツ民謡を踊る楽しさと共に、大切なのはお茶(休憩)時間であると会長の外島さんは話される。その時間にお互いの情報交換や雑談を行い、笑い合いながらたくさんのお話をすることが、1年の半年近くが雪で覆われるこの地域に住む者にとって大切な楽しみの一つであるとのことである。また、週1回開催されることに併せて家の用事を調整し、日々忙しく過ごすことも生活の中の張り合いの一つとなっているとのことであった。入会・問合せについては、代表まで。

# 元気な町内会の活動報告 (高齢者支え合いコミュニティ支援事業)

福島県では平成28年度から、元気な高齢者が身近な地域で社会活動に参加するきっかけをつくり、健康でいきいきと生活している町内会の取組を支援しています。本年度の支援団体のうちから、いくつかの町内会をご紹介します。

## 安心・安全ネットワーク平野

### 〈安心・安全ネットワーク平野 (福島市飯坂方部平野地区町内会連合会) について〉

JR福島駅から車で20分程度にある果樹地帯である一方、国道13号や福島飯坂ICにより地域開発が進み、現在では飯坂方部の中で一番人口の多い地域である。福島市のベッドタウンともいえる地域であり、そのため、高齢者から子どもまで誰もが安心・安全に暮らせるまちを目指していくことが喫緊の課題となっている。



風が非常に強くあいにくの天気ではあったが多くの町民が集まり「声かけ訓練」が行われた。

### 〈住んでいてよかったと安心できる安全なまちを目指して〉

11月上旬に「第1回平野地区徘徊者への声かけ訓練」が行われた。参加者130名が各班に分かれて区内を歩き、各ポイントにいる認知症高齢者の方への声かけを行った。訓練の中では、区内にいる実際の高齢者にも遭遇し「こんにちは」「寒いから気を付けてね」など優しく声を掛ける場面もあった。会長の大平さんによると、これらの訓練を通してお互いに気に掛け合い、認知症の方や子ども、支援を必要とする人への“やさしい見守り”へつなげていくことを目的に、さらには住んでよかったと言えるようなまちを目指して今後も継続して活動していくとのことであった。



(右から) 認知症高齢者役の役員が各ポイントに配置され、参加者は手渡された声かけのポイントに沿って声かけをしていた。



(左) 平野地区町内会連合会 会長 大平敏さんと(右) 同連合会理事 事務局長 白井秀男さんが中心となって進めている。

市町村	福島市		
連絡先	024-542-1334		
町内会費	※(ネットワーク)会費 未定		
代表	会長 大平 敏(おおひらさとし)		
加入世帯数	2,616世帯	所属人数	8,949名

## 東山元気高齢者を作る会

### 〈東山元気高齢者を作る会について〉

川内村東部にあり、村の中心からは5kmほど離れた郊外的地域である。震災後一時避難したものの、川内村に戻り、川内村で過ごしたいという思いが「会員同士の結束の強さ」となっている町内会である。毎週土曜日の午前9時から11時30分までが交流を目的としたレクリエーションが実施され、クオリティ・カラオケなどが行われる。会員でなくとも誰でも参加可能であり地域住民の楽しみとなっている。



(右) 会長の三瓶幹太さんと(左) 副会長 兼 会計の久保田ノブ子さんにお話を伺った。

### 〈東山地区の将来に向けて〉

会長の三瓶さんと副会長の久保田さんが中心となり、決して無理強いほしないように気を付けながらも地域の中で落ち込み気味の人には積極的に声を掛けるなどして、自分たちの地域が楽しい場所となるように活動されてきた。その活動が評価され、川内村の中でもモデル地域として据えられ他の地域への影響力も大きい。また、これからもずっとこの活動が続けられるよう後継者も育てていきたいと明るい表情で話されていたのが印象的であった。



美化活動の一環として、定期的に地区の清掃を会員全員で行っている。



皆で集まり、笑い合いながら同じ時を過ごすことが、何よりの楽しみとなっている。

市町村	川内村		
連絡先	(川内村役場 保健福祉課) 0240-38-2941		
町内会費	1,000円/年		
代表	会長 三瓶幹太(さんべいきみお)		
加入世帯数	35世帯	所属人数	40名